



矢野邦夫

浜松市感染症対策調整監 兼
浜松医療センター 感染症管理特別顧問

「ねころんで読めるCDCガイドライン（メディカ出版）」
シリーズなど、CDC関連の編・訳書多数。

18歳未満におけるSARS-CoV-2 とインフルエンザの同時感染につ いて

SARS-CoV-2とインフルエンザの同時流行期では、それらのウイルスに同時感染することがある。しかし、このような患者が重症化するかどうかについてのデータは不足している。CDCが2021～22年のインフルエンザシーズンに同時感染した18歳未満の患者について報告しているので紹介する [<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/71/wr/pdfs/mm7150a4-H.pdf>]。

はじめに

2022～23年のインフルエンザシーズンでは、インフルエンザに関連した小児の入院が早期から増加している。同時に、SARS-CoV-2も流行し続けている。今季（2022～23年）のインフルエンザシーズンは、SARS-CoV-2とインフルエンザウイルスが実質的に共存する最初のシーズンである。SARS-CoV-2とインフルエンザウイルスの両方が、小児の罹患率に大きく影響する可能性があるが、一つのウイルスによる感染と比較して、同時感染が疾患の重症度を高めるかどうかは不明である。

調査

本レポートは、2021～22年のインフルエンザシーズン中に3つのサーベイランスシステムに報告された「インフルエンザで入院または死亡した18歳未満の患者」におけるSARS-CoV-2とインフルエンザウイルスの同時感染（検査で確認された）の特徴と有病率について記述している。

結果

SARS-CoV-2とインフルエンザウイルスの同時感染は、小児のインフルエンザ関連の入院の6%（575人中32人）および死亡の16%（44人中7人）で発生した。侵襲的人工呼吸器が必要となった割合は、同時感染していない患者で4%、同時感染で入院した患者で14%（ $p=0.03$ ）、ハイレベル気道陽圧または持続陽圧呼吸（BiPAP/CPAP）では、6%と16%（ $p=0.05$ ）であり、同時感染していない患者と比較して、同時感染で入院した患者の方が高かった。同時感染を伴う死亡者

の最も一般的な合併症は、肺炎、急性呼吸窮迫症候群、細気管支炎であった。死亡した7人の同時感染患者のうち、インフルエンザワクチン接種を完了した人はおらず、抗インフルエンザウイルス薬を投与されたのは1人だけであった。

考察

インフルエンザウイルスとSARS-CoV-2の同時感染はまれであったが（入院の6%と死亡の16%）、これは、おそらく2021～22年は例年よりもインフルエンザウイルスの流行が少なかったためである。しかし、これらのデータは、同時感染の患者における侵襲的および非侵襲的人工呼吸器の使用の増加を示し、インフルエンザウイルスとSARS-CoV-2に同時感染した小児および青年では、より深刻な疾患になる可能性を示している。そのため、重度の病気が疑われる急性呼吸器疾患の症状のある小児患者においてインフルエンザとSARS-CoV-2の両方、およびほかの呼吸器系ウイルスの検査を実施することは、同時感染の早期発見を容易にし、臨床治療と管理の指針となるため重要である。

重篤な転帰を防ぐために、臨床医は、推奨される呼吸器系ウイルスの検査のアルゴリズムに従って治療を決定し、入院中または重症疾患のリスクが増加しているSARS-CoV-2の同時感染を含む、インフルエンザの小児患者（確定例および疑い例）に対して、早期の抗ウイルス治療の開始を検討する必要がある。一般市民と小児患者の保護者は、呼吸器系ウイルスの流行期には適切にフィットした高品質のマスクを着用したり、生後6ヵ月以上の人に推奨されるインフルエンザワクチンおよびCOVID-19ワクチンを最新の状態に保つなどの予防戦略を実施する必要がある。



今月の 矢野編集長

愛知県稲沢市の尾張大國霊神社（国府宮）に行ってきた。はだか祭で有名な神社だ！「コロナ禍が終わりますように」と願い、賽銭も奮発してしまった。